

事務事業名		博物館施設改修事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間	
	施策名	11 生涯学習の推進		区分	
	基本事業名	01 学習環境の充実		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	教育委員会博物館		【開始年度】	
	課長名	伊藤 真紀子		平成22 年度～	
	係名	博物館	電話	0192-29-2161	
	担当者	佐藤 貴裕	内線	-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
<ul style="list-style-type: none"> ・市立博物館の施設設備の改修、整備等を行う事業。 ・主な業務は、施設設備の改修、整備、大規模な修繕。 ・事業費は、施設設備の業務委託料に支出される。 				C 施設管理	
				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量(千円)	事業費
				財源内訳	国庫支出金
					都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
					事業費計(A)
					0
				人件費	正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					0
					トータルコスト(A)+(B)
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
常設展示(荒れ狂う海コーナー)改修		ア	施設設備の改修件数(着手、継続の計)
			単位
			件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
常設展示(荒れ狂う海コーナー東側)改修		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
博物館利用者(市民、碁石海岸を訪れる観光客)		名称	
博物館施設・設備		カ	博物館利用者数
			単位
			人
		キ	博物館延床面積
			m ²
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる			
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		サ	施設設備の改修済件数
			単位
			件
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	
学習に必要な環境がある		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	664	998	1,200	833	
		地方債	千円	13,400	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	3,271	1,499	1,600	1,000	
		一般財源	千円	802	0	332	0		417	
	事業費計(A)		千円	14,202	0	4,267	2,497	2,800	2,250	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	0	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,100	0	1,100	1,100	1,100	1,100	
		人件費計(B)	千円	4,400	0	4,400	4,400	4,400	4,400	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	18,602	0	8,667	6,897	7,200	6,650
⑤活動指標	ア	件	3	-	2	1	1	1		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	2,483	4,635	6,298	7,052	8,000	8,400		
	キ	m ²	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058	2,058		
	ク									
	ケ									
⑦成果指標	サ	件	3	-	2	1	1	1		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0915	事務事業名	博物館施設改修事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成13年度に策定された合併建設計画に基づき、平成14年度から施設設備の改修等により利用環境の向上を図る事業として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	復興交付金により、東日本大震災映像コンテンツを制作する計画となった。 施設設備については、経年劣化により、計画以外の不具合が突発的に発生している。 (一財)東北地域づくり協会から、「東日本大震災 震災伝承活動市町村支援事業」として令和4年度から8年度まで支援をいただくこととなった。 同寄附金及び地域経営推進費を活用して、令和4年度には多目的ホールの映像音響機器の更新、令和5年度には荒れ狂う海コーナーの展示壁等の改修を実施した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	設備の保守点検を実施した業者から各設備の更新、改修が必要であると指摘されており、必要な対応を計画している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 来館者の学習環境を向上させるために行う事業なので、生涯学習推進体制・施設の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 博物館は市の生涯学習施設であり、その施設改修は市で行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 生涯学習施設の学習環境向上であり、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき計画的な施設改修を実施するようしており、施設の維持と博物館機能の向上が図れ、向上余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 利用者の学習環境の向上ができず、学習に必要な新たな機会が失われ、影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 博物館の運営に必要な最小限の改修等の事業を実施しているため、削減余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 必要な改修を計画的に実施するため、最小限の人件費であり、削減余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 一般の入館者からは入館料を徴収していることから、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 常設展示の改修を計画的に進める必要がある。																							
1 現状維持	<table border="1" style="text-align:center;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき計画的な施設改修を行い、施設の維持と博物館機能の向上を図る。